

# 御部ダムだより

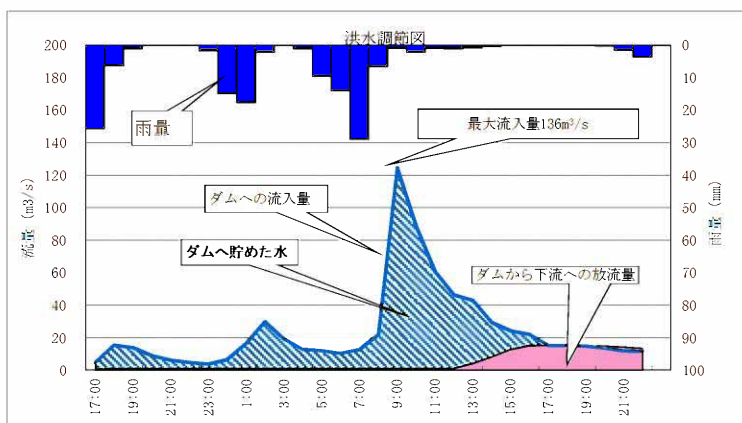
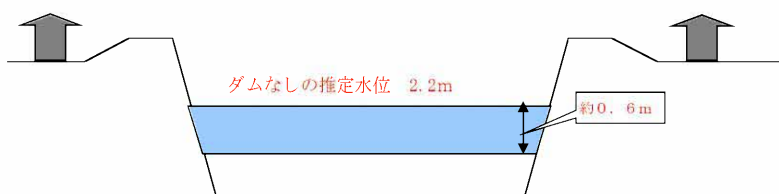
第1号  
平成17年11月

浜田土木建築事務所

## 出水期が終了しました！！

本年度の出水期が終了しました。今年度は少雨傾向ではありましたが、7月の梅雨前線や台風など短い時間でまとまった雨が降る年でした。そのなかで、7月1日からの梅雨前線による大雨が降った時の御部ダムの効果についてまとめてみます。7月1日、梅雨前線により、島根県全域で大雨となり、大雨洪水警報が発令されました。御部ダムでも、7月1日17時15分より洪水警戒態勢に入り、この大雨に対し万全の体制をもって備えました。2日9時には、降り始めからの総雨量は163ミリに達し、ダムへの流入量は急増し、同日9時10分に最大流入量毎秒136トンとなりました。これに対し、御部ダムは洪水調節を行い、ダム地点において最大毎秒135トンの流水をカットしました。(図からわかるように、ダムに入ってきた毎秒136トンの水のうち毎秒135トンをダムに蓄え、残り毎秒1トンをダムから下流へ放流しました)これにより、下流三隅大橋付近において、三隅川の水位をダムがない場合に比べ約0.6メートル下げ、三隅川の急激な水位上昇を防ぎました。

三隅大橋水位観測所付近断面図



ダムからの放流状況



7月2日の天気図

# 御部ダムについて

三隅川は島根県西部に位置する二級河川で標高800m級の弥栄町と金城町の境を分水嶺として西流し、三隅町に入って北流し、日本海に注ぐ流域面積230.2km<sup>2</sup>、流路延長40kmの中小河川であります。

本川は、古くから度々氾濫を繰り返し、特に昭和58年7月の県西部を襲った梅雨前線豪雨では古今未曾有の大洪水となり、三隅町は壊滅的な被害をこうむり、このため抜本的な治水対策を講じる必要に迫られ、河道の改修は災害助成事業の採択より実施、上流には洪水調節のダムを三隅川総合開発事業により計画し、水系一貫の治水計画が策定されました。

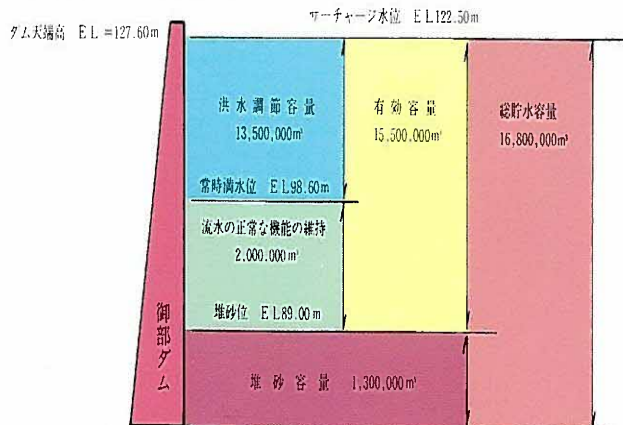
御部ダムは、この計画に基づき三隅川中流部の浜田市三隅町黒沢に多目的ダムとして計画され、三隅川治水計画の中核をなすもので、平成2年3月に完成しました。

その目的は洪水の軽減ほか流水の正常な機能の維持、発電を目的としたダムです。



御部ダム下流側上空より撮影 平成2年3月

## 貯水池容量配分図



## ダム及び貯水池諸元

ダム		
位置	左岸 島根県那賀郡三隅町大字上吉和913-7番地先 右岸 島根県那賀郡三隅町大字黒沢2,369番地先	
型式	重力式コンクリートダム	
堤高	63.00 m	
堤頂長	177.00 m	
堤頂幅	5.0 m	
勾配	上流面	鉛直 (E.L. 75.0 m 以下) 1 : 0.15
	下流面	1 : 0.78
敷幅	50.70 m	
堤体積	130,000 m <sup>3</sup>	
天端標高	E.L. 127.60 m	
越流部標高	E.L. 122.50 m	
地質	三郡変成岩類 緑色片岩	
貯水池		
集水面積	102.4 km <sup>2</sup>	
湛水面積	1.04 km <sup>2</sup>	
総貯水容量	16,800,000 m <sup>3</sup>	
有効貯水容量	15,500,000 m <sup>3</sup>	
洪水調節容量	13,500,000 m <sup>3</sup>	
流水の正常な機能の維持	2,000,000 m <sup>3</sup>	
サーチャージ水位	E.L. 122.50 m	
常時満水位	E.L. 98.60 m	
堆砂位	E.L. 89.00 m	